見守りめぐねっと
ねっとわーく通信
発行：目黒区
第18号
平成31年度冬号
(年2回発行)

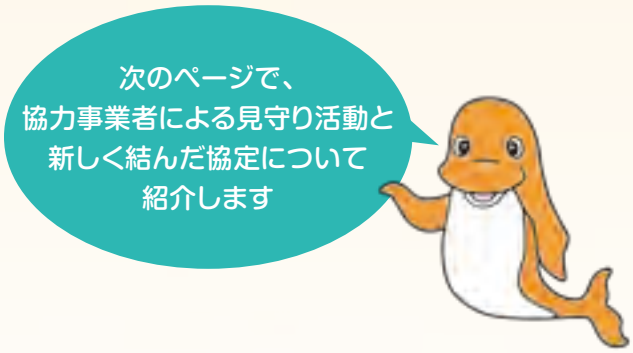
見守りめぐねっと の輪が広がっています

目黒区では、孤立死や虐待を防ぎ、認知症などになっても、地域の皆さんと支え合って暮らしていける「見守りの輪」のあるまちを目指し、見守り事業を実施しています。

見守りめぐねっととは、地域の機関・団体・事業者のみなさんにご賛同いただき、いつものお仕事の中で地域のかたの「ちょっと気がかりなこと」に気づいたときに、地域包括支援センターに連絡していただく見守り活動です。

平成22年1月の開始当初の登録数は11団体・4機関・100事業者でしたが、平成30年11月1日現在では26団体・4機関・390事業者にまで広がっています。

※協力機関・団体・事業者の一覧は、目黒区ホームページにて公表しています。「目黒区見守り」で検索してください。



「ちょっと気がかりなこと」に気づいたら **地域包括支援センター**にご相談ください

連絡先

北部包括支援センター	☎5428-6891	fax3496-5215	目黒区大橋1-5-1 クロスエアタワー9階
東部包括支援センター	☎5724-8030	fax3715-1076	目黒区上目黒2-19-15 目黒区総合庁舎1階
中央包括支援センター	☎5724-8066	fax5722-9803	目黒区中央町2-9-13 食販ビル2階
南部包括支援センター	☎5724-8033	fax3719-2031	目黒区碑文谷1-18-14 碑小学校内南西側
西部包括支援センター	☎5701-7244	fax3723-3432	目黒区柿の木坂1-28-10

開設時間
月曜から金曜日　午前8時30分から午後7時まで
土曜日　午前8時30分から午後5時まで
(祝・休日と年末年始を除く)

平成29・30年に登録された協力事業者のみなさんに、
見守りめぐねっとの日々の活動をお聞きしました。

精肉店さん

藤屋精肉本店（目黒2丁目）

祖父の代から60年、ここで営業しています。

新しいマンションも建ち、初めてのお客様も増えましたが、昔からの馴染みの常連さんもいます。そういった顔見知りのかたが認知症になったところを何人か見てきました。その姿にショックを覚えた、ということもあり、見守りめぐねっとに登録いたしました。

表立って何かする訳ではないですが、気になるかたがいらしたら今後も見守っていこうと思います。

薬局さん

ココカラファイン薬局
東邦大学大橋病院前店（大橋2丁目）

気軽に相談できる薬局を目指し、今年の６月に大橋にオープンしました。

見守りめぐねっとに加入したのは、「地域で困っているかたをいち早く見つけたい」という気持ちがきっかけです。10月からは店内で健康相談会を開くなど、幅広く地域のかたの相談にのっています。このような緩やかなつながりのなかで、薬の処方だけでなく、そのかたの生活から関わることによって、地域に貢献したいと考えています。

居酒屋さん

養老乃瀧西小山店（原町1丁目）

お店のある地域は高齢者が多い印象があり、お客さんでも少し心配に感じるかたが来られることもあります。日本は超高齢社会であり、少しのお手伝いで高齢者の見守りに貢献できるのであればと考えて登録しました。見守りめぐねっとカードやねっとわーく通信を店内で配布・掲示して周知に努めています。

これからも高齢者のために少しでもお手伝いができればと考えています。

目黒区とセブン-イレブン・ジャパンは包括連携協定を結びました。

これまでも「見守りめぐねっと」事業にご協力いただいておりましたが、平成30年6月15日の協定締結をきっかけに、見守りめぐねっとへの登録が40店舗を突破しました。

セブン-イレブン・ジャパン

セブン－イレブンは、地域に根差した店舗運営を通じ、安全・安心なまちづくりなどに貢献していきたいという想いがあり、今回の目黒区との包括連携協定の締結に至りました。

現在、セブン－イレブンにご来店いただくお客様の４割が50歳以上であり、10年前と比べると、その割合も高まっています。

社会環境の変化に対して、「地域の見守り活動」や「高齢者雇用」等、高齢者支援の取組を進めていますが、今回の包括連携協定をきっかけに、更に連携を深め、一過性ではなく、持続性を持った取組を進めてまいります。

セブン－イレブン

目黒環七柿の木坂店店長
（柿の木坂１丁目）

セブン－イレブンでは、地域の皆様に安心で安全な食品を提供できるよう、日々商品開発をしております。

お店では、地域の皆様に愛され、親しまれる店であり続けることを喜びとし、活動しています。

子育てで大変なお母さん、買い物に困っているご高齢なかたなど、是非ご相談ください。

私たちのお店では、従業員がお客様と積極的に会話をし、地域の皆様に貢献できる店を心がけています。

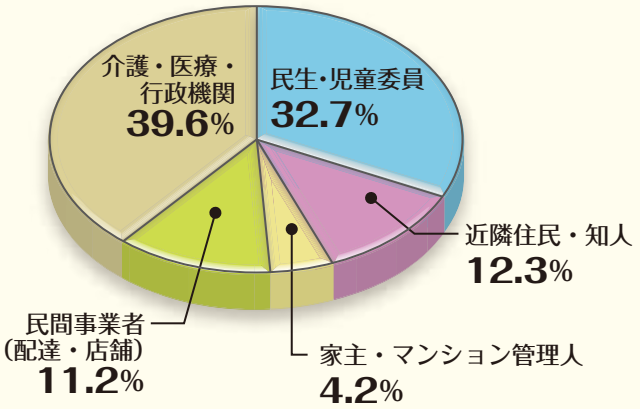
平成30年4月から9月の通報相談件数［260件］

高齢者等の見守りや安否確認について地域包括支援センターに寄せられた通報や相談のうち、民生・児童委員、近隣住民・知人、家主・マンションの管理人、民間事業者のかたからの通報・相談が6割を占めています。

通報・相談内容で多かったのは、安否確認（103件）、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の支援（77件）、認知症・精神疾患（49件）に関するものでした。

みなさんから通報を受けた地域包括支援センターは、状況を確認したうえで、必要な支援へとつなげます。

通報・相談者別件数



ご存知ですか？ 高齢者見守り・安心ステッカーの配布

認知症などの高齢者が外出先で住所や名前が言えない状態でも、早期帰宅につながるよう、身元確認につながる情報（氏名や連絡先など）を任意で記入できる高齢者見守り・安心ステッカーを配布しています。

対　　象：おおむね65歳以上のかた
配布枚数：1人につき衣服用は2枚、靴用は4枚（2組）まで
配布場所：地域包括支援センター、高齢福祉課

靴用ステッカー

衣服用アイロンステッカー

めぐろ消費生活センターニュースの配信

はがき・メールによる架空請求、高齢者・障害者などを狙った訪問販売等による悪質商法等の相談が後を絶ちません。目黒区消費生活センターでは、メールマガジンにより、悪質商法に関する事例や子どもを事故から守るための情報、暮らしに役立つ消費生活講座の案内などを配信しています。

登録方法

パソコン
目黒区のホームページ「メールマガジン」から
http://www.city.meguro.tokyo.jp/online/mail_magazine.html

携帯電話またはスマートフォン
右のQRコードから

問合わせ先

目黒区消費生活センター
電話:03-3711-1133（メールマガジン）
　　03-3711-1140（相談コーナー）
相談時間:月曜から金曜日
午前9時30分から午後4時30分まで

【編集】目黒区健康福祉部地域ケア推進課　TEL：5722-9385　FAX：5722-9062